



生徒の気持ちを和らげるため、雑談ふうの雰囲気で行われる。

「学習指導を通じて生徒と先生のコミュニケーションが深くなるので、生活指導面でもよりきめ細かな指導ができるのです」
 同校では、春季・秋季の個別面談、夏季・冬季の保護者を交えた三者面談と、担任の先生が年4回の面談を実施。さらに、泉岡先生が中学の全生徒と語り合う教頭面談も行っています。
 「担任の先生と生徒の信頼関係がとてもしっかりしていますが、距離が近いからこそ言えないこともあります。私と話すことで、そうした問題に対応するのです。教頭面談では、中1はクラスや学校生活を聞き、中2は主に入学後の成長を見ています。中3は進路や将来について聞いていますね」



外国語の授業では約10名に分割。基礎学力の定着と同時に各生徒の理解をより深める。

教頭面談でヒアリングした内容は、担任の先生へフィードバック。普段の指導に活用します。
 「大事なことは生徒との信頼関係です。話の内容によっては担任へフィードバックせず、別の形で解決を図っていきます」
 今年で5年目に入っている同校のきめ細かな教育体制。その効果について、泉岡先生は確かな手応えを感じています。
 「高校では外部入学者とともに学びますが、6カ年一貫の生徒は高校でリーダーシップを発揮する子が多いです。保護者の方からも感謝の声をいただきます。一度学校に来ていただければ、本校の良さをわかってくださると思います」

城南学園

生徒への個別フォローで 学力・人間性とも大きく成長



一学期は約30名。担任の先生は、各生徒の状態をチェックし、早急にフォローする。

少人数・反復授業で
学力が着実に向上

「自主自律」「清和気品」を建学の精神に、73年の歴史を持つ同校。社会とつながる基礎づくりの実現のため、2004年度から城南学園リニューアル計画を進めています。

「この計画は、時代に合った情報・しつけ教育と確かな学力養成をめざすものです。生徒一人ひとりの学力と人間的成長を把握し、徹底した個別フォローを行っています」と語るのは、中学教頭の泉岡礼一郎先生です。

同校では、土曜日に1週間の内容を反復し、3カ月ごとに再反復する一斉反復授業があります。国・数・英の3教科は、約10名の少人数



反復授業用のオリジナル教材。この冊子から各教科のプリントを作成し、課題として提出する。



テキストのほか、プリント教材を活用し、1週間の内容反復や3カ月ごとの反復授業を行っている。

数分割クラスを編成し、基礎学力の定着を図っています。生徒一人ひとりの理解度に応じたフォローも徹底しており、各生徒の習熟度に合わせたプリント課題を提出、昼休みや放課後に添削・指導する個別指導を行っています。
 「反復学習は学力の定着、個別指導は弱点強化やレベル別指導に役立っています。これらの教育プログラムを導入後、模擬試験の得点が着実に上がってきています」

面談で強い信頼を築き
生徒の正しい成長を促す

少人数クラスや個別指導は、情報・しつけ教育においても役立つと泉岡先生は語ります。

少人数分割指導

一人ひとりの個性に応じた指導を徹底

主要教科は10名前後の少人数クラス編成。各生徒の習熟度をチェックし、きめ細かに対応。

勉強に取り組む態度や習慣を身につける

少人数教育ならではの個別指導で、各教科の先生が生徒の習熟度に合わせてプリントを作成。毎朝その課題を担任に提出し、チェックしてもらう形式。

読書指導

集中力を育てる、朝の10分間。

教頭面談

各生徒の学習状況を面談で把握。

こだわり

一斉反復授業

反復授業で学習内容を完全に理解

毎週土曜日には1週間の授業内容を反復し、試験前には約3カ月も反復という、二段構えの反復学習を実施。通常の授業、1週間分、試験範囲と、3度の学習によって授業内容を理解。

3カ月単位の復習



1週間単位の復習(英・数・国)

